

【2020年度 中学校おすすめ本リスト】

NO.	書名	コメント	編著者名	出版社	出版年	価格
1	ウルド昆虫記 バッタを倒しにアフリカへ	「バッタを倒しにアフリカへ」の児童書版。小学校3年生以上で習う漢字にはふりがながふってあります。新聞でもアフリカのバッタ被害がよく取り上げられているので、SDGsや食糧問題などと関連して紹介できます。	前野ウルド 浩太郎	光文社	2020	¥1,800
2	ぼくの「自学ノート」	2019年にNHKスペシャルで取り上げられたそうです。こんな自学ノートを作っていてもいいのなら、自学ノートも楽しいかもしれない…学ぶことの原点、楽しさが伝わります。	梅田明日佳	小学館	2020	¥1,500
3	ゲームは人生の役に立つ。 生かすも殺すもあなた次第。	ゲームはよくない。という考え方の本が多い中、多様な価値観を提供できるのが図書館。著者は10年間不登校で、ゲームに膨大な時間を費やした。高校3年生で起業し、24歳で社長になれたのは、ゲームからの学びがあったから。著名人との対談もあり、説得力があります。	小幡和輝	エッセン シャル出版 社	2020	¥1,200
4	奇跡の論文図鑑 ありえないネタを、クリエイティブに！	NHKEテレ「ろんぶ〜ん」で放送されたものをまとめたもので、第一線の研究者と論文を読み解きながら、知ることの面白さを味わえる本。論文といっても「ラーメン」「アイドル」「猫の記憶」…身近なことを科学的根拠をもとに解明していきます。	NHK「ろ んぶ〜ん」 制作班	NHK 出版	2020	¥1,300
5	99%の人が速くなる走り方	国際舞台で活躍するアスリートを指導するトレーニングが教える走る技術。朝日新聞のスポーツ面で元プロ野球選手のおすすめの1冊として紹介されていた本。実際に著者の平岩さんに指導を受けた効果も新聞には書かれていました。生徒はよく借りていきます。	平岩時雄	筑摩書房	2018	¥924
6	まちの植物のせかい	見逃しがちな道端の植物の魅力を教えてくれる本。植物観察のアイデア満載。中学1年の国語や理科で植物について知るので、その時期に紹介。	鈴木 純	雷鳥社	2019	¥1,600
7	THE FISH 魚と出会う図鑑	絵と文章を通して出会う図鑑。一般向けだが、絵を見ているだけでも魚好きならわくわくする。 描かれた絵を見ればその魚が実際に見てみたくなるし、文章を読めば情景が浮かぶ。絵はもちろんのこと、その魚にまつわる著者の思い出の記述がとても良い。	長嶋祐成	河出書房新社	2020	¥2,200

8	別冊太陽 日本のこころ283 戦時下の暮らし	軍事統制で厳しい自粛を強いられた庶民の暮らしを、代用品や配給制度、隣組や学童疎開などの事項に分けて、当時の生活道具や日記、写真などの貴重な資料でみる。 ルビがないので中学生向き。『この世界の片隅に』に出てくる衣服や暮らしの道具などの再現もあり、追体験ができる。	小泉和子 監修	平凡社	2020	¥2,500
9	ワタシゴト 14歳のひろしま	修学旅行で広島を訪れた中学生の五つの物語。展示物を鍵に、原爆を自分のこと(悩みなど)に寄せて受けとめていく話。行間が広く、読みやすい。	中澤晶子	汐文社	2020	¥1,400
10	今日から始める コツコツのコツ	物事にコツコツと取り組むことは、今も昔も変わらず、夢や目標をかなえるためには必要なことです。この本には、さまざまな分野の11人のコツコツが載っています。	コツコツ ブック 制作委員会 編	朝日新聞社 出版	2020	¥1,500
11	ヒコーキの雑学100	「ヒコーキのふとした疑問」や「へーそうなんだ、知らなかった!」と思わず口に出して言うような雑学が100個載っています。	チャーリー 古庄	インプレス	2019	¥1,500
12	宇宙飛行士に聞いてみた!	世界一リアルな宇宙の暮らしのQ&Aが、宇宙飛行士の視点から書かれています。	ティム・ピーク	日本文芸社	2018	¥1,800
13	13歳から分かる! 7つの習慣 自分を変えるレッスン	テレビ、SNSで話題のビジネス書『7つの習慣』が、13歳でもわかるように、優しい文章で書かれています。	「7つの習慣」編集部 監修	日本図書 センター	2020	¥1,300
14	新版 モダリーナの ファッションパーツ図鑑	洋服には、服全体はもちろん襟や袖などいろいろなパーツに呼び名があります。この本には、パーツごとにイラストと解説が載っています。	溝口康彦	マール社	2019	¥1,500

15	この世界を知るための大事な質問	写真に対して問いが投げかけられ、思考を促される。データ、解説から写真に隠れている世界の問題を知り、解決のために何ができるかを考える。	野澤巨伸	宝島社	2020	¥1,650
16	ホントに食べる？ 世界をすくう虫のすべて	これからの食糧問題、災害食、ダイエット食としても需要がありそうな「昆虫食」。新聞で知った「昆虫食」を意見作文のテーマにしていた生徒に。	内山昭一/ 監修	文研出版	2020	¥3,960
17	13歳からのアート思考	「美術は教養ではない」「アートは興味のタネ、探求の根、表現の花」「20世紀に普及したあるものによって美術史が変わった。その大変革とは？」	末永幸歩	ダイヤモンド社	2020	¥1,980
18	はかれないものをはかる	定規や秤で測れなくても確かにある「心の扉の強度」「真実を見抜く視力」「心のもやもやを吹きとばす風力」をイラストで表現。日本語、イタリア語、英語で読める。	工藤あゆみ	青幻舎	2018	¥1,760
19	紙の動物園	中国生まれ、アメリカ育ちの作家。中国のSFが注目を集める中、ファンタジーの要素が強く読みやすい短編集。SFの入り口になるか…？	ケン・リュウ/ 著 古沢嘉通/ 編・訳	早川書房	2017	¥748
20	75億人のひみつをさがせ！	一人でも、誰かといっしょでも楽しめる絵本です。0人から始まり、ページが進むごとに人数が増えていきます。先のページに出てきた人が後にも出てきて、それぞれのストーリーをみつけるしかけもあります。最後2ページの言葉が深いです。	クリスティン・ローシフト作 ひだにれいこ訳	岩崎書店	2019	¥1,980
21	水を縫う	「人と違う」ことを嫌いがちな中学生にブックトークで紹介したいと思った1冊です。刺繍が好きな高校生の弟、かわいいものがきらいな姉、母親や父親らしくない両親、同居の祖母、微妙なバランスで成り立つ家族が姉の結婚を機にそれぞれが一步踏み出す物語。人物のセリフに心に沁みる言葉が散りばめられていたように感じました。	寺地はるな	集英社	2020	¥1,760
22	ほとんど憲法 小学生からの憲法入門上・下	「毎日小学生新聞で、お題を毎月立てて、読者からのお便りをもとにそれに関係ある憲法の話をするという連載をまとめた本なので、憲法がより身近に感じられます。例「出席番号順は不平等か？」（平等権）など	木村草太	小峰書店	2020	各¥1,650

23	10代から身につけたい ギリギリな自分を助ける方法	夏休み明けに新刊で出してから次々と借りられています。友だち、恋愛、家族など悩みが具体的に分類されており、自分を助ける3つのステップが明確に記されています。つらいときは「頼ってもいいんだ」ということがわかり、そこから抜け出すヒントを見つけるきっかけになればいいなと思います。	井上祐紀	KADOKAWA	2020	¥1,430
24	琉球という国があった	2012年「たくさんのふしぎ」として刊行され、今年新たにハードカバーで出版されました。2019年の首里城炎上のことも巻末に触れてあります。これを読み、自分があまり沖縄の歴史を知らないということを実感しました。写真絵本でわかりやすく、沖縄について資料を紹介するときに、この1冊も加えたいと思いました。	上里隆史	福音館書店	2020	¥1,430